



# 「政治理念超え結実」

## 事業者・運転者に感謝

改正貨物自動車運送事業法が臨時国会で成立したことを受け、全日本トラック協会の坂本克己会長は12日、記者会見を開き、「都道府県トラック協会の会員事業者、現場で汗を流しているドライバーの目頭の取り組みが衆参両院議員の心を動かした」と、全国のトラック運送事業者とドライバーに対して敬意と感謝の意を表した。

また、「『仏作って魂入れず』では意味が無い」として、関係政省令の制定、

施行に向け、「多少時間が掛かってはいるが、行政当局や国会議員と調整の上、使い勝手の良い政策を実現させる」と意欲を述べた。

事業法改正案は8日未明の参院本会議で、賛成237、反対ゼロの全会一致で可決、成立。ドライバーの労働環境改善とトラック事業者の健全な発展を目指す7、反対ゼロの全会一致で可決、成立。ドライバーの労働環境改善とトラック事業者の健全な発展を目指す7、反対ゼロの全会一致で可決、成立。ドライバーの労働環境改善とトラック事業者の健全な発展を目指す7、反対ゼロの全会一致で可決、成立。

## 標準運賃「肝中の肝」

事業法の改正を目指したきつかけについては、働き方改革関連法の成立を受け、「この機を逃したらあかん」と、働き方改革と軌を一にして労働条件改善にアタックすることが天命

「思った」と言及。ただ、「実現できたのは全国の事業者とドライバーのお陰で、わたしは介添えをしたまで」とした。

2023年度末までの期限措置として、国土交通相



「多少時間が掛かってはいるが、行政当局や国会議員と調整の上、使い勝手の良い政策を実現させる」と坂本会長

# 物流ニッポン

30.12.17付

西宏明会長）、日本商工会議所（三村明夫会頭）から荷主への締め付けにつながる措置に対して賛同を得たことや、規制緩和論がまだ根強い政府が「悪貨が良貨を駆逐」しているトラック

「貨物自動車運送事業法改正は集大成。トラック事業者、ドライバーの真摯で前向きな姿勢に対する（政治家の）評価のお陰」

坂本克己会長は12日の会見で、改正事業法のスピード可決・成立についてこの言葉を繰り返した。

出入国管理法改正にしろ、水道法改正にしろ、先り臨時国会で成立して

### 記者の目

## 奇跡のスピード決着

を元に戻すのではない」とつたようだが、そうすれば時間がかかりすぎる。新たな事業者や荷主対策で動き方改革の柱である新たなルールを盛り込んだ事業法改正が、反対も無く成立したことは「奇跡」を踏まえ、同法案を

重要法案には、いわゆる「物流」の現状に対する「規制緩和」の考え方が根底にある。官邸周辺や経済界には基本的に市場経済志向が多いと言われ、その中で「時計の針を戻す」などの指摘がある。その中で「時計の針を戻す」などの指摘がある。その中で「時計の針を戻す」などの指摘がある。その中で「時計の針を戻す」などの指摘がある。

「物流」の現状に対する「規制緩和」の考え方が根底にある。官邸周辺や経済界には基本的に市場経済志向が多いと言われ、その中で「時計の針を戻す」などの指摘がある。その中で「時計の針を戻す」などの指摘がある。その中で「時計の針を戻す」などの指摘がある。

「物流」の現状に対する「規制緩和」の考え方が根底にある。官邸周辺や経済界には基本的に市場経済志向が多いと言われ、その中で「時計の針を戻す」などの指摘がある。その中で「時計の針を戻す」などの指摘がある。その中で「時計の針を戻す」などの指摘がある。